

上場会社名 日本ハム株式会社

コード番号 2282 URL <http://www.nipponham.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末澤 壽一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部 経理財務部長 (氏名) 長谷川 佳孝

TEL 06-7525-3042

四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け説明会)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	294,565	△3.6	9,468	△20.3	8,411	△26.1	5,919	△31.2
28年3月期第1四半期	305,502	7.6	11,877	19.7	11,378	27.4	8,598	30.4

(注)当社株主に帰属する四半期包括利益 29年3月期第1四半期 833百万円 (△91.9%) 28年3月期第1四半期 10,257百万円 (53.8%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	29.06	27.29
28年3月期第1四半期	42.21	39.61

(注)営業利益は日本の会計慣行に従い、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	690,862	355,353	350,462	50.7	1,720.44
28年3月期	682,855	361,360	356,353	52.2	1,749.36

(注)「株主資本」については「当社株主資本」の金額を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	33.00	33.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	46.00	46.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	610,000	△1.7	21,000	△3.6	19,000	△8.4	13,500	△12.1	66.27
通期	1,250,000	0.7	49,000	5.7	44,000	36.9	31,000	42.3	152.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

詳細は【添付資料】5ページ「2.その他の情報(3)会計方針の変更、(4)四半期連結財務諸表の作成基準」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	204,000,000 株	28年3月期	204,000,000 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	295,837 株	28年3月期	295,049 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	203,704,572 株	28年3月期1Q	203,701,238 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期決算レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因によってこれら予想や計画とは大きく異なる結果となる可能性があります。また、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社は、そのような義務を負うものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信【添付資料】4ページ「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更	5
(4) 四半期連結財務諸表の作成基準	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第 1 四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結包括利益計算書	8
【第 1 四半期連結累計期間】	8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 継続企業の前提に関する注記	10
(6) セグメント情報	10
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
補足資料	補 1～補 6

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については本日 T D n e t で開示するほか、当社ホームページにも掲載いたします。

・平成 28 年 8 月 2 日 (火) ・ ・ ・ ・ ・ 機関投資家・アナリスト向け決算説明会

※ 上記説明会のほかにも、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### 業績全般の状況

当第 1 四半期の国内経済は、景気は弱さも見られるものの、政府の経済政策等による雇用環境の改善等により緩やかな回復基調が続きました。その一方で、世界経済の不透明感は増大し、為替や株式相場の動向など経済環境の先行きは予断を許さない状況が続いています。

当業界におきましては、原材料の価格が落ち着きを見せたものの、国内における鶏肉相場が軟調に転じたことや、人手・車両不足を背景とした物流費の上昇、販売競争の激化等により、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような中、当社グループは、平成 27 年 4 月からの「新中期経営計画パート 5」においてテーマとして掲げた「変革による骨太なビジネスモデルの構築」の実現に向け、2つの経営方針「国内事業の競争優位性の確立」、「グローバル企業への加速」に基づく事業活動を推進してまいりました。具体的施策としては、海外事業本部の新設、国内ファーム事業の強化、新商品の開発と販促、生産性の改善などコスト競争力の強化と収益力の向上に加え、人材の育成やリスク管理の徹底等に取り組みました。また、ブランド食肉拡販を目指した様々なプロモーション施策を通じて当社グループの認知度向上に努めました。海外においては、マレーシアの Lay Hong Berhad 社との合弁会社を設立いたしました。また、平成 27 年 11 月に制定した「ニッポンハムグループ・コーポレートガバナンス基本方針」の内容の見直しなど、経営体制の強化にも取り組みました。

以上の結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比 3.6%減の 294,565 百万円となりました。営業利益は対前年同期比 20.3%減の 9,468 百万円、税金等調整前四半期純利益は対前年同期比 26.1%減の 8,411 百万円、当社株主に帰属する四半期純利益は対前年同期比 31.2%減の 5,919 百万円となりました。

#### オペレーティング・セグメントの概況

当社は、平成 28 年 4 月 1 日付で新たに「海外事業本部」を設立しました。これに伴い、従来各事業本部（加工事業本部・食肉事業本部・関連企業本部）等の管轄下にあった海外子会社及び海外関連会社は、「海外事業本部」の管轄となりました。

##### (加工事業本部)

ハム・ソーセージ部門においては、コンシューマ商品は、原料環境好転に伴いブラッシュアップした「アンティエ」、TVCMを導入した「シャウエッセン」やエリア戦略として導入したボリュームゾーン向け新商品が好調に推移しましたが、PB商品の回復遅れなどから売上高は前年を下回りました。業務用商品は、大手外食で定番商品及びキャンペーン商品が導入になり伸長しましたが、ハム・ソーセージ部門全体では、微減となりました。

加工食品部門は、今春の新商品である「極み焼ハンバーグ」や、ブランド食肉を活用した「桜姫大きな唐揚げ」等が好調に推移するとともに、CVSチャネルで伸長するカテゴリーに大型商品が導入になり売上高が回復し、加工食品部門全体では、昨年を上回りました。結果、加工事業本部全体としての売上高は前年を上回りました。

利益につきましては、生産性向上によるコスト改善に加え、新商品投入による粗利益改善と原燃料事情が好転したこともあり増益となりました。

以上の結果、当第 1 四半期連結累計期間の加工事業本部の売上高は対前年同期比 2.2%増の 81,388 百万円、営業利益は 1,119 百万円（前年同期は 40 百万円の営業利益）となりました。

##### (食肉事業本部)

食肉事業においては、「桜姫」等当社ブランド食肉の販促は、お取引先とのタイアップ企画を継続するとともに、2年目の実施となる「桜姫・麦小町ナイター」や、新たにラジオ番組を活用する等、複合的なコミュニケーションを行いました。その結果、フード会社を中心に販売数量は昨年より増加しましたが、食肉価格が鶏肉等で軟調に転じたことから、売上高は前年を下回りました。

利益につきましては、国内ファーム事業では、鶏相場は下落しましたが牛・豚相場の上昇により、昨年並みの利益となりました。また販売部門では、国産牛・豚肉の相場高、輸入鶏肉の急激な相場下落により、減益となりました。

以上の結果、当第 1 四半期連結累計期間の食肉事業本部の売上高は対前年同期比 1.5%減の 184,293 百万円、

営業利益は対前年同期比 8.5%減の 8,342 百万円となりました。

(関連企業本部)

水産部門は、量販チャンネル向けの主力商品であるエビ、イカ、サーモン製品や、自社製造商品の販売が伸長したほか、外食チャンネル向け商品も好調であったことで、売上高は前年を上回りました。乳製品部門においては、ヨーグルト・乳酸菌飲料は、主力の「バニラヨーグルト」やドリンクヨーグルトの販促強化により量販チャンネル、CVSチャンネルでの売上高が伸長しました。また、チーズは、主力の製パンチャンネル、外食チャンネルでの販売が好調で売上高は前年を上回り、乳製品部門全体は増収となりました。

利益につきましては、水産部門は、自社製造商品を中心に売上高が伸長したことに加え、サーモン等の相場が好転したことにより利益率が改善し増益となりました。乳製品部門のうち、ヨーグルト・乳酸菌飲料は、売上高の伸長に加え原料価格が安定したことにより、利益が前年を上回りました。チーズは、売上高の伸長により工場の稼働率が改善したことと、原料事情が好転したことなどから利益が前年を上回り、乳製品部門全体では増益となりました。

以上の結果、当第 1 四半期連結累計期間の関連企業本部の売上高は対前年同期比 2.2%増の 37,709 百万円、営業利益は対前年同期比 206.8%増の 589 百万円となりました。

(海外事業本部)

売上高につきましては、北米の加工事業は販売拠点の拡大等により伸長しましたが、豪州における牛の頭数の減少や価格の高騰による販売の苦戦から、減収となりました。

利益につきましては、米州事業は好調なブランド加工食品の販売や養豚事業の相場の回復等から昨年を上回りましたが、豪州事業における牛の仕入れ価格の高騰や、原料等コスト高による中国の製造工場の苦戦等により、減益となりました。

以上の結果、当第 1 四半期連結累計期間の海外事業本部の売上高は対前年同期比 15.7%減の 57,459 百万円、営業損失は 809 百万円（前年同期は 2,610 百万円の営業利益）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### 《財政状態》

当第 1 四半期末の総資産は、前期末に比べ受取手形及び売掛金が 2,925 百万円減少しましたが、現金及び現金同等物が 7,134 百万円、棚卸資産が 4,484 百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比 1.2%増の 690,862 百万円となりました。負債については、前期末に比べ支払手形及び買掛金が 7,676 百万円、未払費用が 5,362 百万円増加したことなどにより、前期末比 4.4%増の 335,509 百万円となりました。なお、有利子負債は前期末から 1,401 百万円増加し、156,007 百万円となりました。

当社株主資本は前期末比 1.7%減の 350,462 百万円となり、総資産も増加したことから当社株主資本比率は 1.5 ポイント減の 50.7%となりました。

### 《キャッシュ・フロー》

営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加 7,191 百万円などがありましたが、未払費用及びその他の流動負債の増加 12,393 百万円、支払手形及び買掛金の増加 8,215 百万円、四半期純利益 5,920 百万円などにより、19,313 百万円の純キャッシュ増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得 7,062 百万円などにより、7,276 百万円の純キャッシュ減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加 4,115 百万円などがありましたが、現金配当 6,739 百万円、借入債務の返済 1,383 百万円などにより、3,494 百万円の純キャッシュ減となりました。

これらの結果、当第 1 四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末に比べ 7,134 百万円増加し、74,455 百万円となりました。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

平成 29 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間においては、豪州事業における販売の苦戦及び国内の鶏肉相場が軟調に転じたことなどから、売上高は低調に推移しました。これらの状況を踏まえ、改めて今後の業績見通しを検討した結果、平成 28 年 5 月 9 日の「平成 28 年 3 月期決算短信」で公表した平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間及び平成 29 年 3 月期通期の連結業績予想について、下記の通り修正致します。

なお、平成 28 年 3 月 28 日に公表した「当社および連結子会社における転籍募集に関するお知らせ」に記載の特別加算金支給に伴う影響につきましては、現時点では転籍者数などが確定していないため、これらの業績予想修正には織込んでおりません。今後、影響額が確定した段階で速やかにお知らせいたします。

## ■平成29年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	税引前 四半期純利益	当社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 四半期純利益
前回発表予想 (A)	630,000	21,000	19,000	13,500	66.27円
今回発表予想 (B)	610,000	21,000	19,000	13,500	66.27円
増減額 (B-A)	△ 20,000	—	—	—	
増減率	△3.2%	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	620,309	21,794	20,743	15,366	75.44円

## ■平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,270,000	49,000	44,000	31,000	152.18円
今回発表予想 (B)	1,250,000	49,000	44,000	31,000	152.18円
増減額 (B) - (A)	△ 20,000	—	—	—	
増減率	△1.6%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	1,240,728	46,340	32,139	21,779	106.92円

**将来に関する記述等についてのご注意**

この決算短信に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、この決算短信に記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。

## 2. その他の情報

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

### (4) 四半期連結財務諸表の作成基準

当社の四半期連結財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められた会計基準に準拠して作成しています。当期の表示に合わせて、前期の数値の一部を組替えて表示しています。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	67,321	74,455
定期預金	10,354	10,181
受取手形及び売掛金	128,352	125,427
貸倒引当金	△ 382	△ 332
棚卸資産	137,395	141,879
繰延税金	6,041	7,703
その他の流動資産	10,934	10,396
流動資産合計	360,015	369,709
有形固定資産(減価償却累計額控除後)	268,172	267,302
無形固定資産(償却累計額控除後)	4,832	4,638
投資及びその他の資産		
関連会社に対する投資	4,737	4,416
その他の投資有価証券	24,978	23,887
その他の資産	10,800	11,324
投資及びその他の資産合計	40,515	39,627
長期繰延税金	9,321	9,586
資産合計	682,855	690,862
(負債及び資本の部)		
流動負債		
短期借入金	41,374	42,801
一年以内に期限の到来する長期債務	11,461	11,135
支払手形及び買掛金	94,420	102,096
未払法人税等	7,122	2,834
繰延税金	1,584	1,301
未払費用	21,858	27,220
その他の流動負債	23,089	27,166
流動負債合計	200,908	214,553
退職金及び年金債務	14,426	14,642
長期債務(一年以内期限到来分を除く)	101,771	102,071
長期繰延税金	2,632	2,559
その他の固定負債	1,758	1,684
負債合計	321,495	335,509
当社株主資本		
資本金	24,166	24,166
資本剰余金	50,958	50,958
利益剰余金		
利益準備金	8,150	8,376
その他の利益剰余金	275,051	274,022
その他の包括損失累計額	△ 1,515	△ 6,601
自己株式	△ 457	△ 459
当社株主資本合計	356,353	350,462
非支配持分	5,007	4,891
資本合計	361,360	355,353
負債及び資本合計	682,855	690,862

(注) その他の包括損失累計額の内訳  
 売却可能有価証券未実現評価益 5,588  
 年金債務調整勘定 5,377  
 外貨換算調整勘定 1,726

前連結会計年度 当第1四半期連結会計期間  
 5,588 4,874  
 △ 5,377 △ 5,294  
 △ 1,726 △ 6,181



## (2) 四半期連結損益計算書

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

科 目	前第 1 四半期 連結累計期間 自平成27年 4 月 1 日 至平成27年 6 月 30 日	当第 1 四半期 連結累計期間 自平成28年 4 月 1 日 至平成28年 6 月 30 日
売 上 高	305,502	294,565
売 上 原 価	250,552	240,986
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	43,073	44,111
その他の営業費用及び(△収益)-純額	285	829
支 払 利 息	294	334
その他の収益及び(△費用)-純額	80	106
税金等調整前四半期純利益	11,378	8,411
法 人 税 等	2,569	2,521
持分法による投資利益(△損失)前 四 半 期 純 利 益	8,809	5,890
持分法による投資利益(△損失) ( 法 人 税 等 控 除 後 )	△ 197	30
四 半 期 純 利 益	8,612	5,920
非支配持分に帰属する 四 半 期 純 利 益	△ 14	△ 1
当 社 株 主 に 帰 属 する 四 半 期 純 利 益	8,598	5,919

## (3) 四半期連結包括利益計算書

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

科 目	前第 1 四半期 連結累計期間 自平成27年 4 月 1 日 至平成27年 6 月 30 日	当第 1 四半期 連結累計期間 自平成28年 4 月 1 日 至平成28年 6 月 30 日
四 半 期 純 利 益	8,612	5,920
その他の包括利益(△損失) (法人税等控除後)		
売却可能有価証券 未実現評価(△損)益	964	△ 714
年金債務調整勘定	33	87
外貨換算調整勘定	665	△ 4,598
その他の包括利益(△損失)合計	1,662	△ 5,225
四 半 期 包 括 利 益	10,274	695
非支配持分に帰属する 四半期包括(△利益)損失	△ 17	138
当社株主に帰属する 四 半 期 包 括 利 益	10,257	833

## (4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	前第 1 四半期	当第 1 四半期	(参 考)
	連結累計期間 自平成27年 4 月 1 日 至平成27年 6 月 30 日	連結累計期間 自平成28年 4 月 1 日 至平成28年 6 月 30 日	前連結会計年度 自平成27年 4 月 1 日 至平成28年 3 月 31 日
営業活動によるキャッシュ・フロー：			
四半期(当期)純利益	8,612	5,920	18,755
調 整 項 目：			
減 価 償 却 費	4,782	5,043	19,926
減 損 損 失	202	43	11,081
繰 延 税 金	△ 1,897	△ 1,930	272
為 替 換 算 差 額	△ 397	△ 1,335	△ 3,193
受取手形及び売掛金の(△増)減	829	2,281	△ 113
棚 卸 資 産 の ( △ 増 ) 減	△ 15,941	△ 7,191	5,894
その他の流動資産の(△増)減	△ 881	348	△ 34
支払手形及び買掛金の増(△減)	15,899	8,215	△ 304
未 払 法 人 税 等 の 減	△ 4,578	△ 4,282	△ 598
未払費用及びその他の流動負債の増	6,476	12,393	232
そ の 他 — 純 額	△ 253	△ 192	617
営業活動による純キャッシュ増	12,853	19,313	52,535
投資活動によるキャッシュ・フロー：			
固 定 資 産 の 取 得	△ 10,387	△ 7,062	△ 37,604
固 定 資 産 の 売 却	257	241	1,839
定期預金の(△増)減	10	0	△ 202
有価証券及びその他の投資有価証券の取得	△ 177	△ 22	△ 2,798
有価証券及びその他の投資有価証券の売却及び償還	276	36	475
関連会社に対する投資	—	—	△ 1,891
事業の取得に伴う現金及び現金同等物の純減	△ 8,563	—	△ 8,563
そ の 他 — 純 額	△ 431	△ 469	△ 395
投資活動による純キャッシュ減	△ 19,015	△ 7,276	△ 49,139
財務活動によるキャッシュ・フロー：			
現 金 配 当	△ 9,388	△ 6,739	△ 9,411
短期借入金金の増	21,682	4,115	18,506
借入債務による調達	8,404	476	30,408
借入債務の返済	△ 17,751	△ 1,383	△ 32,614
非支配持分からの出資	—	—	1,502
自己株式の取得	△ 2	△ 2	△ 10
そ の 他 — 純 額	—	39	△ 199
財務活動による純キャッシュ増(△減)	2,945	△ 3,494	8,182
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	188	△ 1,409	△ 1,661
純キャッシュ増(△減)	△ 3,029	7,134	9,917
期首現金及び現金同等物残高	57,404	67,321	57,404
期末現金及び現金同等物残高	54,375	74,455	67,321
補足情報：			
四半期(年間)キャッシュ支払額			
支 払 利 息	407	334	1,496
法 人 税 等	7,357	6,990	13,165
キャピタルリース債務発生額	2,346	1,159	4,686

**(5) 継続企業の前提に関する注記**

該当事項はありません。

**(6) セグメント情報**

オペレーティング・セグメント情報

当社は、平成 28 年 4 月 1 日付で新たに「海外事業本部」を設立し、従来各事業本部（加工事業本部・食肉事業本部・関連企業本部）等の管轄下にあった海外子会社及び海外関連会社は、「海外事業本部」の管轄となりました。これに伴い、当第 1 四半期連結累計期間より、オペレーティング・セグメントを従来の 3 つの事業グループから以下の 4 つの事業グループに変更しています。

- 加工事業本部 — 主に国内におけるハム・ソーセージ、加工食品の製造・販売
- 食肉事業本部 — 主に国内における食肉の生産・販売
- 関連企業本部 — 主に国内における水産物、乳製品の製造・販売
- 海外事業本部 — 主に海外子会社におけるハム・ソーセージ、加工食品、食肉及び水産物の生産・製造・販売

なお、当社グループは当社及び子会社 87 社、関連会社 6 社で構成されております。

前第 1 四半期連結累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	海外事業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	76,342	160,417	36,233	37,291	310,283	△ 4,781	305,502
(2) セグメント間の内部売上高	3,262	26,763	676	30,908	61,609	△ 61,609	-
計	79,604	187,180	36,909	68,199	371,892	△ 66,390	305,502
営 業 費 用	79,564	178,060	36,717	65,589	359,930	△ 66,305	293,625
営 業 利 益	40	9,120	192	2,610	11,962	△ 85	11,877

当第 1 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	海外事業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	77,624	158,106	36,938	26,920	299,588	△ 5,023	294,565
(2) セグメント間の内部売上高	3,764	26,187	771	30,539	61,261	△ 61,261	-
計	81,388	184,293	37,709	57,459	360,849	△ 66,284	294,565
営 業 費 用	80,269	175,951	37,120	58,268	351,608	△ 66,511	285,097
営 業 利 益 ( △ 損 失 )	1,119	8,342	589	△ 809	9,241	227	9,468

- (注) 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれております。  
 2. 全社費用及び特定の子会社の損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告オペレーティング・セグメントに配賦しております。これらの子会社は、各報告オペレーティング・セグメントに含まれる連結会社のために間接的なサービス及び業務支援を行っております。  
 3. 営業利益(△損失)は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。  
 4. 前第 1 四半期連結累計期間について、当第 1 四半期連結累計期間のオペレーティング・セグメント情報に基づき、組替えを行っております。

**(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

該当事項はありません。

平成29年3月期第1四半期

補 足 資 料

日 本 ハ ム 株 式 会 社

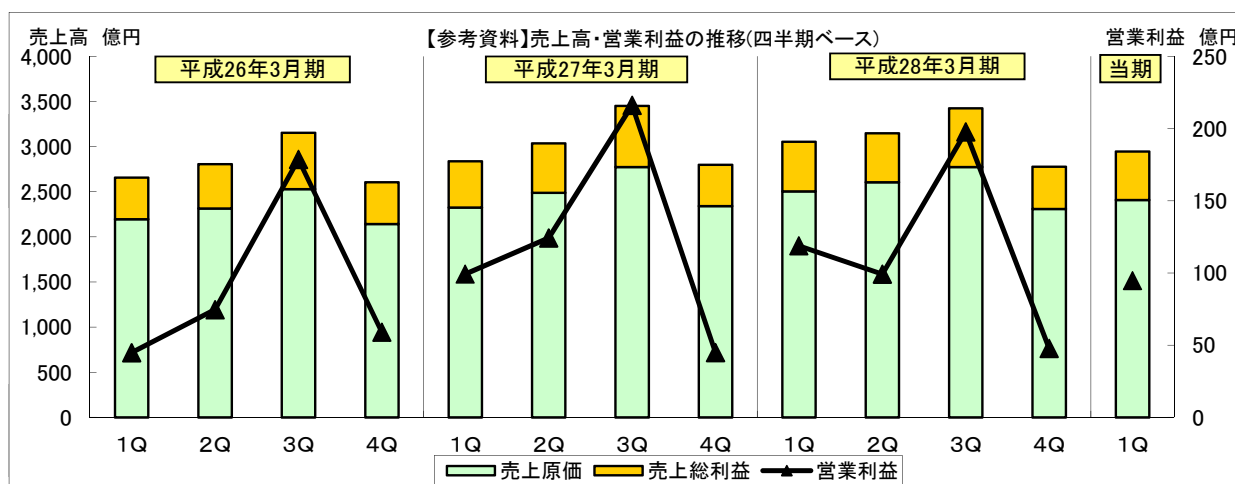
平成28年7月

# I ハイライト情報

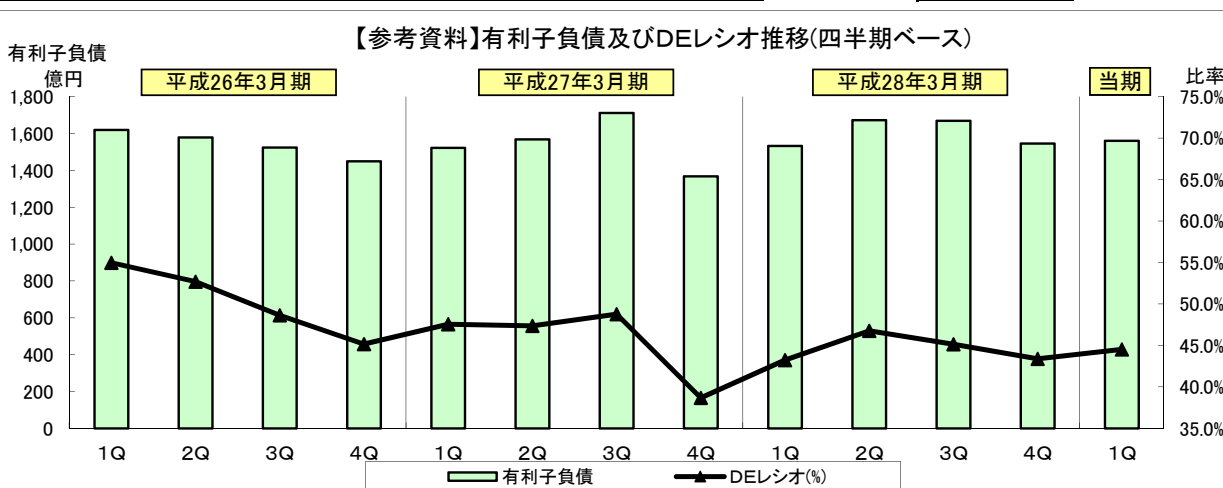
《連結決算》

(単位：百万円)

	27年3月期 第1四半期 (実績)	28年3月期 第1四半期 (実績)	29年3月期 第1四半期 (実績)	対前年同期 増減率	28年3月期 (実績)	29年3月期 第2四半期 連結累計期間 (計画)	29年3月期 (計画)
売上高	283,851	305,502	294,565	△ 3.6%	1,240,728	610,000	1,250,000
売上総利益	51,300	54,950	53,579	△ 2.5%	221,224		
営業利益	9,922	11,877	9,468	△ 20.3%	46,340	21,000	49,000
税引前四半期 (当期)純利益	8,931	11,378	8,411	△ 26.1%	32,139	19,000	44,000
当社株主に 帰属する 四半期(当期)純利益	6,592	8,598	5,919	△ 31.2%	21,779	13,500	31,000
売上高総利益率	18.1%	18.0%	18.2%		17.8%		
売上高営業利益率	3.5%	3.9%	3.2%		3.7%	3.4%	3.9%
当社株主資本当期(四半期)純 利益率(ROE)	2.1%	2.4%	1.7%		6.1%		8.4%



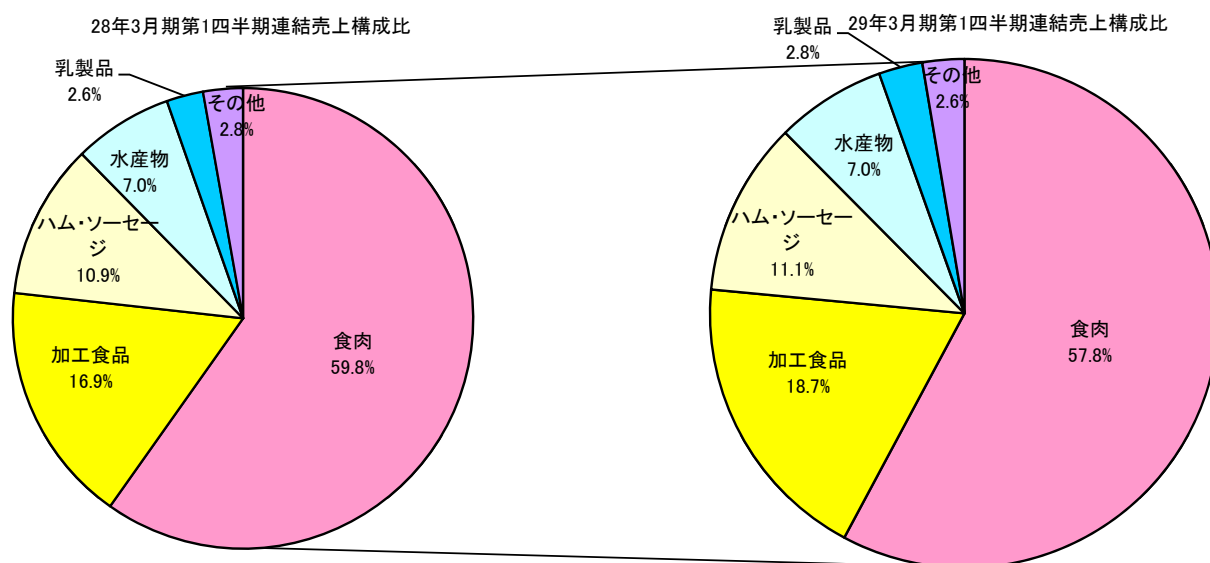
	27年3月期第1 四半期(実績)	28年3月期第1 四半期(実績)	29年3月期第1 四半期(実績)	28年3月期 (実績)	29年3月期 (計画)
総資産	654,007	701,265	690,862	682,855	
当社株主資本	320,116	354,549	350,462	356,353	
有利子負債	152,251	153,252	156,007	154,606	
D / E レシオ	0.48	0.43	0.45	0.43	
設備投資額	8,153	10,981	5,686	36,799	62,200
減価償却費	4,640	4,662	4,914	19,445	20,000



## II 連結売上内訳

(単位：百万円)

	28年3月期 第1四半期 (実績)		29年3月期 第1四半期 (実績)		対前年同期 増減率	28年3月期 (実績)		29年3月期 (計画)	
		構成比		構成比			構成比		構成比
ハム・ソーセージ	33,263	10.9%	32,591	11.1%	△ 2.0%	141,459	11.4%	143,000	11.4%
加工食品	51,811	16.9%	54,994	18.7%	6.1%	221,308	17.9%	232,600	18.6%
食肉	182,702	59.8%	170,350	57.8%	△ 6.8%	716,899	57.8%	712,500	57.0%
水産物	21,317	7.0%	20,619	7.0%	△ 3.3%	94,704	7.6%	94,300	7.6%
乳製品	7,879	2.6%	8,194	2.8%	4.0%	31,396	2.5%	32,400	2.6%
その他	8,530	2.8%	7,817	2.6%	△ 8.4%	34,962	2.8%	35,200	2.8%
合計	305,502	100.0%	294,565	100.0%	△ 3.6%	1,240,728	100.0%	1,250,000	100.0%



## III 連結販売費及び一般管理費内訳

(単位：百万円)

	28年3月期 第1四半期 (実績)	29年3月期 第1四半期 (実績)	対前年同期 増減	28年3月期 (実績)
人件費	17,197	17,607	410	67,624
広告宣伝費	2,634	2,852	218	11,104
物流費	12,654	12,947	293	52,583
その他	10,588	10,705	117	43,573
合計	43,073	44,111	1,038	174,884
売上高販管費比率	14.1%	15.0%		14.1%

#### IV 「その他の営業費用及び(△収益)-純額」・「その他の収益及び(△費用)-純額」の内訳

##### 1. その他の営業費用及び(△収益)-純額 (単位:百万円)

	28年3月期 第1四半期 (実績)	29年3月期 第1四半期 (実績)	対前年同期 増減	28年3月期 (実績)
固定資産関連	285	742	457	12,160
その他	—	87	87	△9
合計	285	829	544	12,151

##### 2. その他の収益及び(△費用)-純額 (単位:百万円)

	28年3月期 第1四半期 (実績)	29年3月期 第1四半期 (実績)	対前年同期 増減	28年3月期 (実績)
受取利息・配当金	402	368	△34	1,032
為替差損益	△310	△194	116	△1,706
その他	△12	△68	△56	10
合計	80	106	26	△664

支払利息	294	334	40	1,386
------	-----	-----	----	-------

差し引き計	△499	△1,057	△558	△14,201
-------	------	--------	------	---------

※「差し引き計」は「その他の収益及び(△費用)-純額」から「その他の営業費用及び(△収益)-純額」と「支払利息」を控除して算出しております。



## V セグメント情報

## 1. オペレーティング・セグメント情報

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (平成28年4月1日～平成28年6月30日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
加工事業本部						
外部顧客に対する売上高	76,342	95.9%	77,624	95.4%	1,282	1.7%
セグメント間の内部売上高	3,262	4.1%	3,764	4.6%	502	15.4%
売上高合計	79,604	100.0%	81,388	100.0%	1,784	2.2%
営業利益	40	0.1%	1,119	1.4%	1,079	—
食肉事業本部						
外部顧客に対する売上高	160,417	85.7%	158,106	85.8%	△ 2,311	△ 1.4%
セグメント間の内部売上高	26,763	14.3%	26,187	14.2%	△ 576	△ 2.2%
売上高合計	187,180	100.0%	184,293	100.0%	△ 2,887	△ 1.5%
営業利益	9,120	4.9%	8,342	4.5%	△ 778	△ 8.5%
関連企業本部						
外部顧客に対する売上高	36,233	98.2%	36,938	98.0%	705	1.9%
セグメント間の内部売上高	676	1.8%	771	2.0%	95	14.1%
売上高合計	36,909	100.0%	37,709	100.0%	800	2.2%
営業利益	192	0.5%	589	1.6%	397	206.8%
海外事業本部						
外部顧客に対する売上高	37,291	54.7%	26,920	46.9%	△ 10,371	△ 27.8%
セグメント間の内部売上高	30,908	45.3%	30,539	53.1%	△ 369	△ 1.2%
売上高合計	68,199	100.0%	57,459	100.0%	△ 10,740	△ 15.7%
営業利益 (△損失)	2,610	3.8%	△ 809	△ 1.4%	△ 3,419	—
消去調整他						
売上高	△ 66,390		△ 66,284		106	
営業利益	△ 85		227		312	
連結						
売上高合計	305,502	100.0%	294,565	100.0%	△ 10,937	△ 3.6%
営業利益	11,877	3.9%	9,468	3.2%	△ 2,409	△ 20.3%

(注) 営業利益 (△損失) は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

## 【参考情報～海外事業本部の内訳】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (平成28年4月1日～平成28年6月30日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
アジア・欧州						
外部顧客に対する売上高	3,386	20.8%	4,550	26.5%	1,164	34.4%
セグメント間の内部売上高	12,862	79.2%	12,633	73.5%	△ 229	△ 1.8%
売上高合計	16,248	100.0%	17,183	100.0%	935	5.8%
営業利益	194	1.2%	34	0.2%	△ 160	△ 82.5%
米州						
外部顧客に対する売上高	9,761	43.9%	7,531	36.9%	△ 2,230	△ 22.8%
セグメント間の内部売上高	12,467	56.1%	12,864	63.1%	397	3.2%
売上高合計	22,228	100.0%	20,395	100.0%	△ 1,833	△ 8.2%
営業損失	△ 534	△ 2.4%	△ 169	△ 0.8%	365	—
豪州						
外部顧客に対する売上高	24,145	75.3%	14,838	70.9%	△ 9,307	△ 38.5%
セグメント間の内部売上高	7,913	24.7%	6,089	29.1%	△ 1,824	△ 23.1%
売上高合計	32,058	100.0%	20,927	100.0%	△ 11,131	△ 34.7%
営業利益 (△損失)	3,096	9.7%	△ 503	△ 2.4%	△ 3,599	—

(注) セグメント間取引の消去があるため、オペレーティング・セグメント情報の「海外事業本部」とは一致しません。